

2025年6月6日

各位

会社名 株式会社 TENTIAL  
代表者名 代表取締役社長 中西裕太郎  
(コード番号:325A、東証グロース市場)  
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 鶴沢敬太  
(TEL. 03-6455-2921)

## 投資家の皆さまからのご質問と当社見解 (2025年6月)

日頃より、当社へご関心をお持ちいただきありがとうございます。上場日以降、投資家の皆さまより頂戴した主な質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、本開示は投資家の皆さまへの情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がある点ご了承ください。

### Q1. 米国の関税引き上げ政策による、事業への影響はありますか？

当社のビジネスは日本国内需要を中心とした内需型であり、サプライチェーンにおいても米国市場への依存や輸出は極めて軽微であり、事業への影響は限定的でございます。主力製品の販売は国内市場が中心であり、また製造も複数国・国内連携による分散型サプライチェーンを構築しております。万が一調達コストに変動があった場合でも、柔軟に対応可能な体制を構築しております。

しかしながら世界経済は先行き不透明な状態にあるため、当社が事業展開する市場環境の変化を注視し、柔軟かつ迅速な対応を行いながら業容拡大に取り組んで参ります。また、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

### Q2. 為替の変動は、事業にどのような影響を与えますか？

当社製品の多くは中国・ASEAN で生産しており、原価の大半を米ドルで決済しています。そのため円高は仕入原価を円換算で引き下げ、利益面でポジティブに作用します。逆に円安が進行すると原価が上昇するリスクが生じますが、当社は為替予約を行うことで、為替変動による業績への影響を最小限に抑えております。

### Q3. 直近で複数の直営店舗を出店していますが、売上、費用それぞれの観点で、業績へのインパクトはありますか？

3月から4月にかけて、大阪・広島・横浜・福岡エリアにて4店舗を新規出店し、丸の内店のリニューアルも実施いたしました。いずれの新店舗も売上は非常に好調な滑り出しとなっています。コスト面についても、効率的な内装設計により初期投資額を抑制しており、利益への負荷は軽微です。直営店舗は、ブランド体験の提供・リピーターのお客様獲得・LTV向上にも寄与しており、中長期の成長基盤としてポジティブに機能しています。

以上